

【放牧】（岡山県高梁市 農事組合法人西山維進会）

○地域の特徴

高梁市は高原地帯に位置し、トマト・ぶどうの園芸団地が整備され、県内外から新規参入者を受け入れている。一方で農家の半数以上は高齢者であり、耕作放棄地が増加。

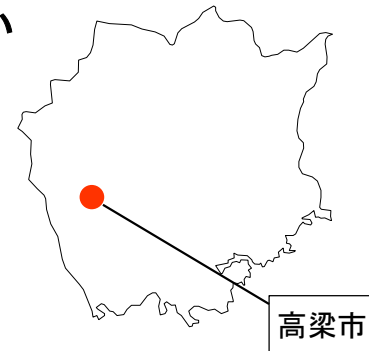
○組織の概要

H25年 地域の農業・農村振興を図るため、地元有志により任意組合 西山維進会を発足

H26年 地域活性化と耕作放棄地対策として和牛放牧に着目し、県畜産研究所から放牧牛2頭と放牧資材を借り受け、試験的に放牧を開始

H27年 繁殖雌牛4頭と放牧資材を導入し、繁殖雌牛36頭規模の経営を目指し、本格的に放牧を開始

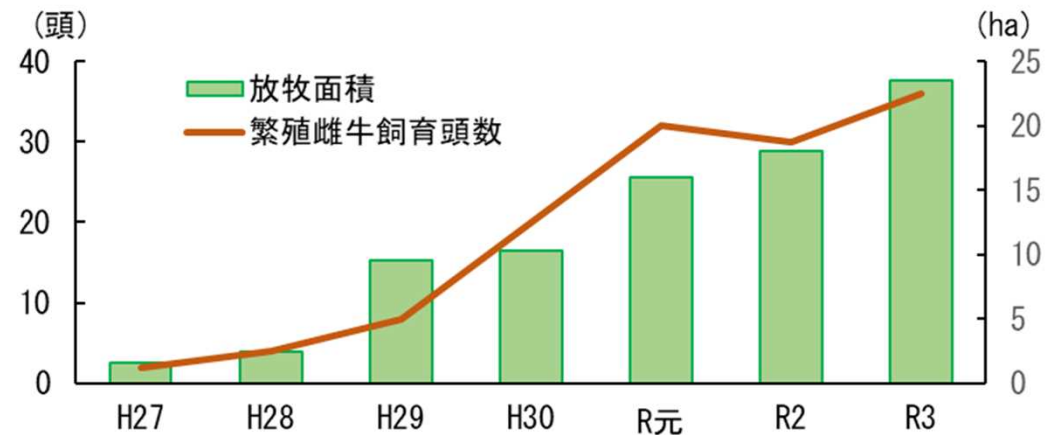
H29年 農事組合法人として法人化(R3年現在 構成員12名)し、農作業受託事業や若手農業者の育成にも着手



高梁市

取組の内容・成果

- ①計画的に増頭し規模拡大を図るとともに、農地中間管理機構を通じた農地の借受けにより放牧面積を拡大、地区全体の耕作放棄地解消に貢献
- ②母子放牧による省力化を図る中で、組合員が家畜人工授精師資格を取得するとともに、ICT(Information and Communication Technology 情報通信技術)を活用した分娩管理と繁殖管理によって、事故率の低減と適期授精による繁殖成績の向上を実現
- ③トマトハウスを簡易牛舎として活用し、地元農協が推進する稲SGS(Soft Grain Silage子実を破碎処理等しサイレージ化(乳酸発酵)した飼料)と自給飼料を利用することで、肉用牛の低コスト生産に取り組む
- ④新規就農促進のための農業体験イベントの実施、高齢化した農家の農作業(トマト、ピーナー)を受託するなど、地域農業の安定化に寄与



母子放牧



トマトハウスを活用した簡易牛舎